

「鑄造品の評価技術研究部会シンポジウム」のご案内

主催 公益社団法人 日本鑄造工学会

共催 地方独立行政法人 東京都立産業技術研究センター

鑄造品の評価技術研究部会 部会長 堀川紀孝


テーマ 「鑄造品に使える非破壊試験と評価基準の確立に向けて」 －鑄造品実体での試験・検査技術と品質保証－

今日、鑄造品はあらゆる産業及び生活のインフラとして重要な役割を果たしています。したがって、その品質評価（材質、形状、表面及び内部きず）は、正確・迅速・実体での全数試験・検査が要求され、適切な非破壊試験・検査の導入が不可欠となりつつあります。

このシンポジウムでは、①鑄造品における試験・検査の役割、②評価基準の意味、③鑄造品の材質、表面及び内部きずの非破壊試験法とその評価方法について、これまで研究会活動で得られた成果を報告します。参加される皆様に大いに役立てていただける内容となるよう企画いたしましたので、万障お繰り合わせのうえご参集の程、下記ご案内申し上げます。

< 記 >

1. 日時：平成 28 年 11 月 22 日（火）
午前 10 時～午後 5 時 20 分

2. 場所：東京都江東区青海 2-4-10
東京都立産業技術研究センター本部
（都産技研本部：右図 ）
5 階 531 会議室

交通：

- ①ゆりかもめ「テレコムセンター」駅前
- ②りんかい線「東京テレポート」駅から、
無料送迎バスで 3 分、又は、徒歩 15 分



3. 参加費（テキスト代）：会員 13,000 円、学生 1,000 円、非会員 26,000 円

4. 募集人員：定員 50 名（定員になり次第締切ります。）

5. 申込み締切り：11 月 2 日（水）までに、日本鑄造工学会ホームページ (<http://jfs.or.jp>)
の「シンポジウム申込フォーム」からお申込み願います。

6. お問い合わせ先：〒105-0012 東京都港区芝大門 1-10-1 日本鑄造工学会事務局

TEL:03-6809-2303, FAX:03-6809-2330, E-mail:jfes@jfs.or.jp

= (プログラム) =

10:00~10:05 開会の挨拶

10:05~12:00 基調講演

- ① 「鋳造品の評価技術：設計の要求を満たすために」

加藤寛氏（埼玉大学名誉教授）（55分）

- ② 「鋳造品の強度評価の考え方：欠陥と強さと壊れ方の関係」

野口徹氏（北海道大学名誉教授）（60分）

12:00~13:00 昼休み

13:00~14:00 非破壊試験（1）「超音波試験」

- ① 「超音波試験：きずの定量化と評価」 鹿毛秀彦氏（日下レアメタル研究所）（30分）

- ② 「ADIのヤング率に及ぼす熱処理条件の影響」 長船康裕氏（室蘭工業大学）（30分）

14:00~16:15 非破壊試験（2）「電磁気試験」

- ① 「鋳鉄材の電磁気特性変化－圧縮・引張応力，きずなど－」

後藤雄治氏（大分大学）（30分）

- ② 「渦電流信号に対する表面（粗さ，残留応力）の影響」 堀川紀孝氏（旭川高専）（30分）

15:00~15:15 休憩（15分）

15:15~16:15

- ③ 「渦電流法によるカムシャフトのチル評価」 矢口修氏（リケン）（30分）

- ④ 「MAT法による鋳鉄組織の評価」 内一哲哉氏（東北大学）（30分）

16:15~17:15 非破壊試験（3）「放射線試験技術」

- ① 「X線CTの鋳造品への適用とその最新技術」

富澤雅美氏（東芝ITコントロールシステム）（30分）

- ② 「小型中性子源システムが開くものづくり産業－鉄鋼材料を中心に－」

大竹淑恵氏（理化学研究所）（30分）

17:15~17:20 閉会の挨拶

以上